

令和3年度地域整備方向検討調査 実施地区について

1 地域整備方向検討調査

調査管理事務所では、国営事業の実施に向けた各種の調査を実施しています。今回は、令和3年度に地域整備方向検討調査を実施する地区について紹介します。

地域整備方向検討調査は、国営事業の実施の可能性がある地域において、地区調査に先立って、地域の課題やその解決のための整備構想の概略を検討し、地域の現状を的確に反映した農業基盤の整備方向を検討する調査です。

2 令和3年度調査地区の概要

＜小矢部川地域 調査期間：平成30年度～＞

本地域は富山県西部に位置した小矢部川沿岸に展開する水田農業地帯で、水稻を基幹作物とし、水田畑利用による大豆やハトムギ、畑作のいちごや干し柿生産等の農業経営が展開されています。

基幹的な農業水利施設は、経年的な施設の劣化により用水路からの漏水や頭首工の機械施設に不具合が生じています。

令和2年度は、土地利用状況や営農実態の調査と第1頭首工及び第2頭首工の耐震性照査を行いました。



第2頭首工

＜坂井北部地域 調査期間：令和元年度～＞

本地域は福井県北部に位置した九頭竜川の支流竹田川の右岸に広がる県内最大の畑作団地で、すいか、メロン、さつまいも、ねぎ等の生産を展開しています。

事業完了から約30年が経過しており、揚水機場のポンプ設備・電気設備の故障や水路などコンクリート構造物のクラック、目地からの漏水が顕著化するなど施設機能低下が懸念されています。

令和2年度は、施設課題調査と地域営農について地元関係者と意見交換を行いました。



揚水機場のポンプ設備

＜加賀南部地域 調査期間：令和3年度～＞

本地域は、石川県南西部に位置し、手取川の両岸に広がる8,206haの農業地帯であり、水稻を中心に、転作による大豆や大麦等が生産されている。

本地域の基幹的な農業水利施設は、造成から約50年が経過しており、一部施設は国営総合農地防災事業（平成6年度～平成18年度）と国営施設整備事業（平成18年度～平成21年度）により改修されているが、排水機場や幹線用排水路をはじめとする多くの基幹的水利施設の機能低下が懸念されており令和3年度より調査を予定しています。



中嶋排水機場